

農業委員会委員選挙人名簿の縦覧を行います

農業委員会等を経由して提出していただいた農業委員会委員選挙人名簿登載申請書は、農業委員会で審査・判断を行い、選挙管理委員会が選挙人名簿を調製します。

縦覧期間

2月23日(火)～3月9日(火)の15日間
午前8時30分～午後5時

縦覧場所

三豊市選挙管理委員会事務局
(市役所2階 総務課内)

選挙人名簿を正確にするため、平成22年度農業委員会委員選挙人名簿の縦覧をしますので、登録されているかどうか、耕作面積等に誤りがないか等の確認をされる人は縦覧期間内に必ず申し出て下さい。選挙人名簿に登録されていないと投票やリコール請求ができませんので、登録されているかどうかの確認をお願いします。

農業委員会委員選挙人名簿は、公職選挙法上の規定が準用されていないため、名簿縦覧期間以外の閲覧は一切行うことができません。名簿登録確認等をされる人は必ず期間内に申し出をお願いします。

三豊市選挙管理委員会事務局
73・3000(総務課内)

便利で安全！ 身分証明書には住基カードが最適です

住民基本台帳カード(住基カード)は、住民基本台帳法に基づき市町村が発行するICカードです。情報を暗号処理して記録するので安全です。

「住基カード」を取得するには

受付場所 市民課(各支所市民サービス課でも受け付けできますが、即日交付はできません)

申請に必要なもの
運転免許証やパスポートなど本人確認ができる書類

印鑑
写真付き住基カードを作る

場合は顔写真縦4.5cm横3.5cm

問い合わせ
市民課 73・3005

住基カードは平成23年3月31日まで無料で交付できます



三豊市国際交流協会から



世界の料理教室(ギョーザ作り)



青空ギム子作り教室

～We♥Mitoyo～
国際交流活動2009フォトフラッシュ



日本語講座



ハーベキュー大会



クリスマスパーティー

▶申し込み・問い合わせ(財)三豊市国際交流協会 56-5121(マリンウェーブ内・火曜休館)
ホームページ <http://www.mitoyo.org/>

じゃぱんぐりっしゅ
異文化理解サロン「Japanglish」

スペイン出身のナチョ先生と一緒に、異文化理解を深めるための講座を開催します。英語や日本語を使いながら楽しむフリートーク型交流サロンです。



こんにちは。ナチョです。リラックスした雰囲気、いろいろな面白い話題について会話を楽しみましょう。

- クラス 2月15日(月) 「ここが違うよ！スペインと日本」
2月18日(木) 「ナチョが選ぶスペインの面白い40箇所」
2月25日(木) 「スペインの食べ物」
- 時間 午後1時30分～2時30分
場所 マリンウェーブ
参加料 無料(要予約)

シリーズ No.44 なんなん？食育

食育参観・親子給食・食育講話を通して
～「かむことのよさ」をみつけよう！～

神田小学校では、毎年1・3・5年生の保護者を対象に食育参観、親子給食、食育講話という流れで食の家庭啓発活動を行っています。



月1回の学校栄養職員の来校時に合わせて、各学年の発達段階に応じた食育の授業を行い、保護者に参観してもらいます。この日の授業は、3年生「かむことのよさ」についての授業でした。授業を通して、日ごろどんなものを好んで食べているかなど、食生活について振り返りました。

食育参観の後は、ランチルームでの親子給食です。保護者に、子どもたちの配膳の仕方や食事の様子を見てもらったり、配膳や片付けなどの給食体験をしてもらったりしています。給食の時間には、献立にち

神田小学校

よくかんで食べられているかな？

よくかむとどんないいことがあるのかな？



なんだ食指導もあります。

親子給食に続いて、保護者対象の食に関する講話です。今回は、栄養のバランスが大切なこと、一日の活力のもととは朝ごはんなど、食事の大切さについての講話がありました。

今後も家庭と協力しながら、子どもたち自身がさまざまな面から、食事の大切さについて考えていけるような取り組みを実践していきたいと思っています。



文化財を訪ねて
尊澄法親王御旧跡
中世動乱の中で



尊澄法親王御旧跡

諫問町田井の王屋敷という地に、妙法院尊澄法親王御旧跡と刻まれた記念碑が立っています。約二三〇年前に建立されたもので、近くに祠が祀られています。

ここは、日本の歴史に名を残す「尊澄法親王」の居宅跡だと言われています。一体どのような人物だったのでしょうか？

法親王は、本名を宗良親王(むねなが)と言います。父は建武の新政で有名な後醍醐天皇です。鎌倉幕府打倒を目指す父の企てに法親王も加わりましたが、武運つたなく敗れ、捕らわれて京の都から遠く離

れた讃岐国に流刑に処せられました。法親王を乗せた船が到着したのが、現在の諫問町です。沓脱(くつだ)石といふところに上陸した法親王は、浪打八幡宮の社僧に迎えられ、王屋敷の館に入りました。

諫問に雌伏すること一年三九月、父の倒幕運動が成功し、いったんは中央に復帰した法親王ですが、南北朝分裂の動乱の中、各地に転戦の末、吉野(奈良県)に退き、死没するまで南朝方を支えました。

法親王の館は、中央に台地が築かれ、堀が巡らされていたそうです。その周辺には先述のような地名も多数残っており、日本の中央史に直結するものであるとして、昭和四五年に市営時諫問町の史跡に指定されました。歌人としても知られる法親王は、現在も地元の人たちに親しまれ、御旧跡は自治会の人たちによって、大切に守られています。

ちなみに、法親王と縁に中央より作陶技術も讃岐に伝来しました。これが現在豊中町岡本地区に伝わる、岡本焼の由来だと言われています。「法親王」は通常「ほうしんのう」と読みますが、地元では「ほうしんろう」と呼称されています。本稿では後者に従いました。